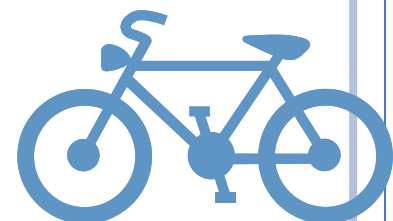


市民参加

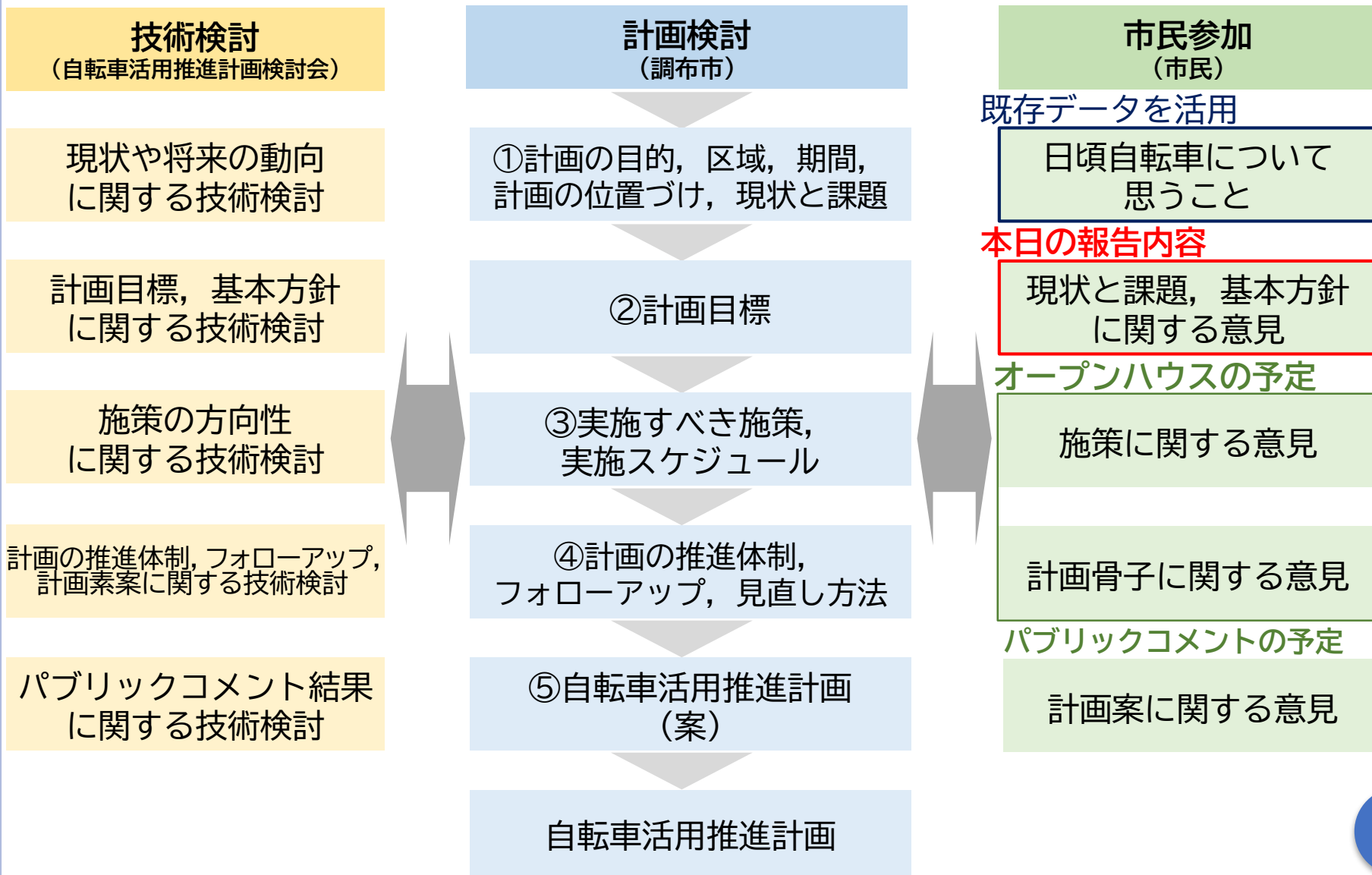
検討の流れ	2
実施した市民参加の概要	3
集計結果	5
アンケートの今後の活用方針	7
今後の市民参加	8

令和7年8月7日



検討の流れ(再掲)

- 計画の策定に当たり「計画検討」「技術検討」「市民参加」を並行して実施しながら検討を進めていく。
- 市民参加については、計画検討の①～⑤の各段階の内容に対して実施していく。



実施した市民参加の概要（オープンハウス）

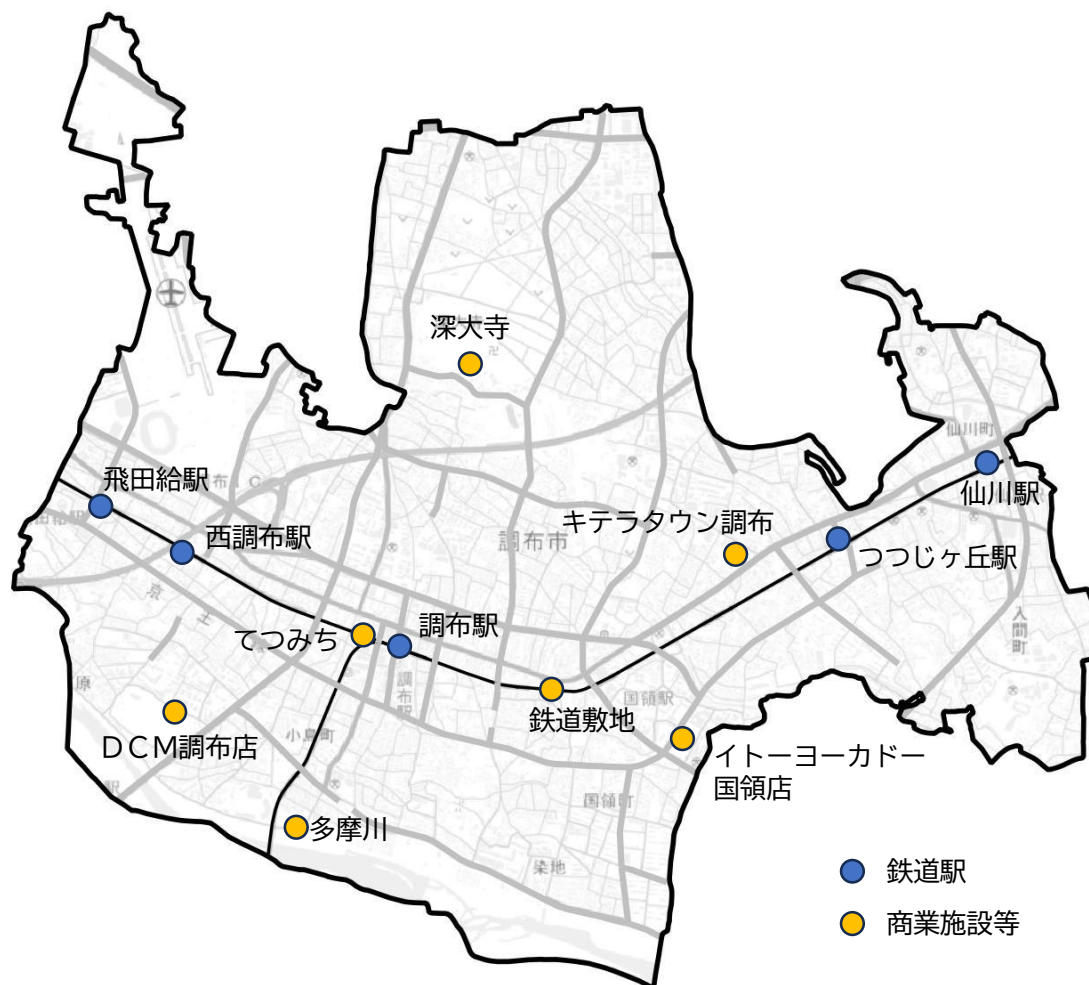
- ・ オープンハウスは現状と課題に関する意見聴取を主目的として実施した。

実施期間： 5月26日(月)から6月7日(土)

※秋頃にもオープンハウスを実施し施策に関する意見聴取を行う予定



オープンハウスの実施状況



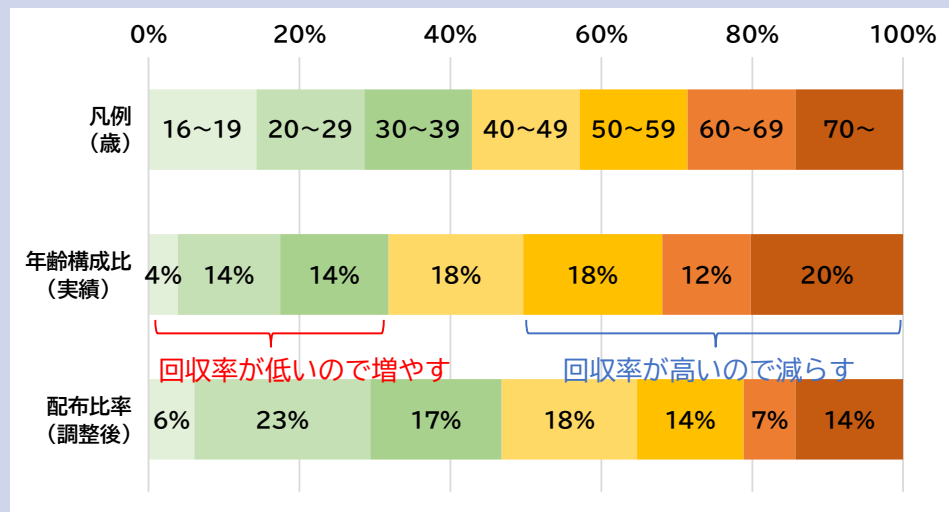
今回実施したオープンハウスの会場

実施した市民参加の概要（アンケート）

- 市民アンケートは、現状と課題，基本方針に関する意見を聴取することを主目的として，調査票を郵送した。

調査対象

- 住民基本台帳より，満16歳以上の方から，年齢階層別は無作為抽出で選定（計3,000通）
- 調布市民意識調査の年齢階層別回収率を参考に，回収数が実際の年齢構成比に近似するように配布数を調整



配布方法

- 調査票の郵送・回収
- 調査票にQRコードを付与し，調査票の郵送回収・web回答の併用

調査スケジュール

- 7月 3日 配布
- 7月22日 回答〆切

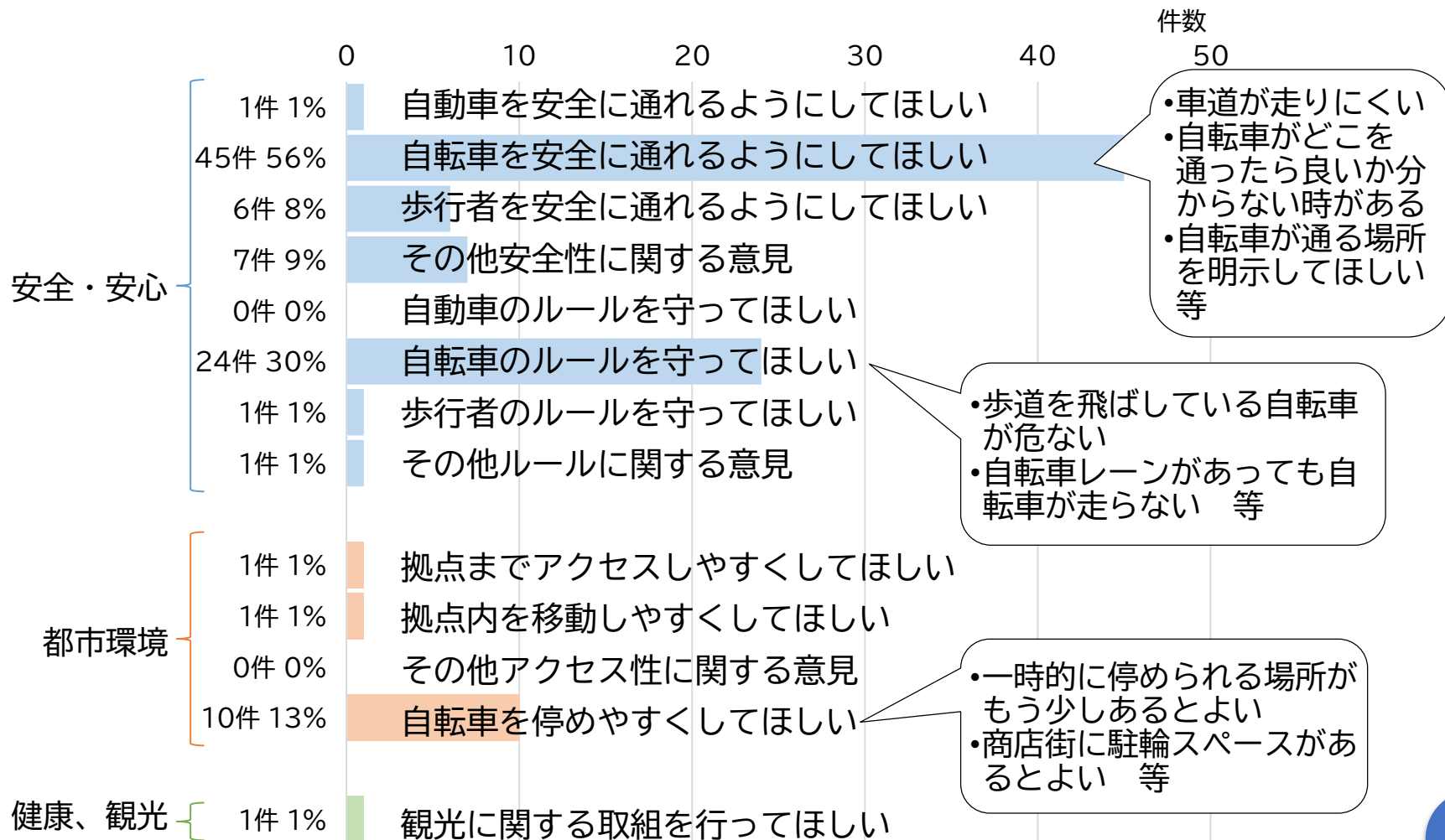
回収結果(〆切分)

- 828件（回収率28%）

集計結果 (オープンハウスの意見)

- 安全・安心に関する意見が半数以上を占め、特に自転車と歩行者が安全に通れるようにしてほしいという意見が多く寄せられた。

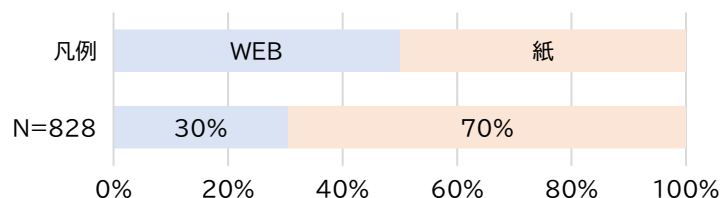
※自転車に関する意見80人分の意見を分類化したもの



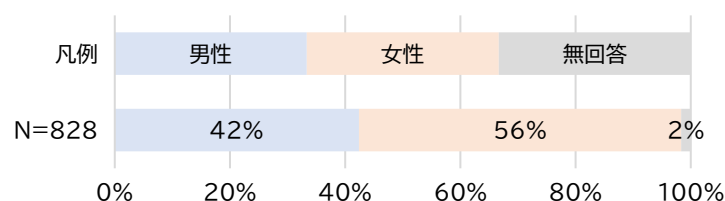
集計結果 (アンケートの回答者の属性)

- 7/22の×切までには828件(回収率28%)の回答があり、幅広い属性から回答が得られている。
- 全体で3割程度が普段の外出手段として「自転車」を利用し、年代では40代が最も多く、地域別では北部地域が最も多い。

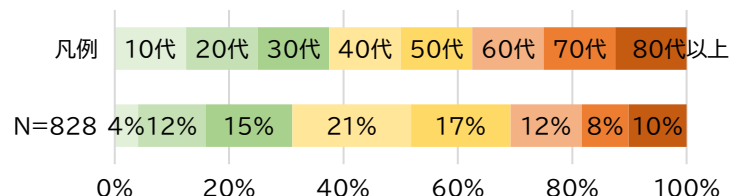
回答媒体



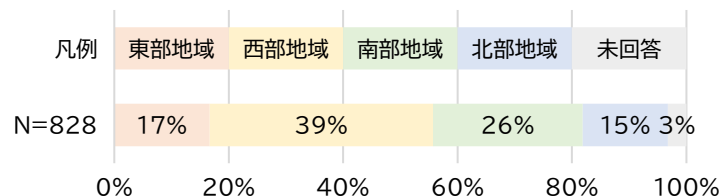
性別



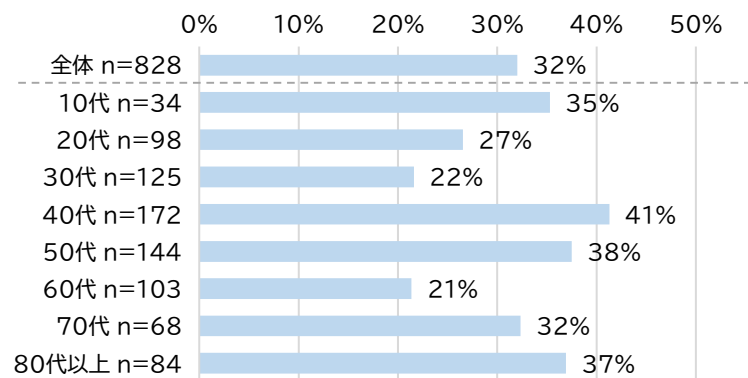
年齢



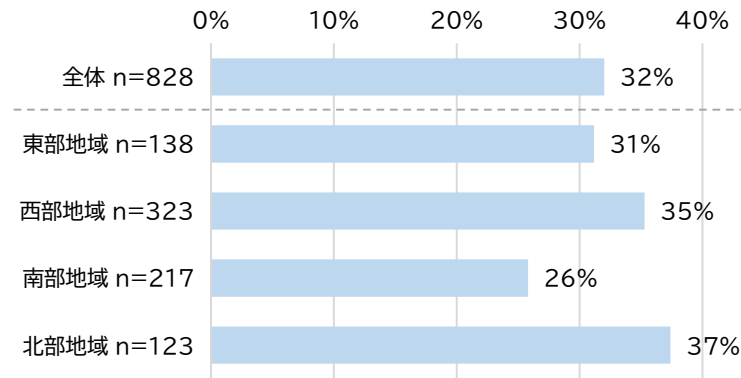
居住地域



普段の外出手段を自転車と回答 (年齢別)



普段の外出手段を自転車と回答 (地域別)



アンケートの今後の活用方針

アンケートについて詳細分析をし、注目すべき層（ターゲット）を明らかにする。

（例）

- ・ 普段使う交通手段と、自転車利用ルールの認知・順守状況をクロス
⇒ 自動車利用者は自転車が歩道を走るものと誤認している人が多くないか
- ・ 年齢と、自転車通行空間の通行ルールをクロス
⇒ 近年整備された自転車通行空間の通行ルールについてあまり理解していない若者や高齢者が多くないか



注目すべき層に重点を置いて施策を行うことで、施策がより実効性のあるものにしていく。

今後の市民参加

- 今後実施予定の市民参加は、以下の内容を検討している。

R7年度以降の計画検討のステップと市民参加プロセス

時期	市の検討内容	市民に求める意見等	市民参加	
			情報発信手段	意見収集
R7年 5～6月	①計画の目的, 区域, 期間, 計画の位置づ け, 現状と課題 ②計画目標	現状と課題, 基本方 針に関する意見	オープンハウス イベント等での展示	参加者に対する 聞き取り
R7年 7月			アンケート案内状	アンケート (紙, WEB)
R7年 10～11月	③実施すべき施策, 実施スケジュール ④計画の推進体制, フォローアップ, 見 直し方法	施策に関する意見 計画骨子に関する意 見	オープンハウス イベント等での展示	参加者に対する 聞き取り
R8年 1月	⑤自転車活用推進計画 (案)	計画案に関する意見	市HPでの公表	パブリックコメ ント